

2017年3月期 第1四半期決算補足資料

I. 説明要旨

- ◆ グループ中期事業計画の2年目となる2017年3月期は、中期事業計画達成に向けた投資を継続するとともに、前期に実施した変革アクションの効果発現とコストコントロールにより、2020年3月期の連結営業利益目標40億円の達成に向けて黒字転換を図る事業年度と位置付け。
- ◆ 第1四半期は、ブックオフオンライン事業・ハグオール事業が増益となった一方で、リユース店舗事業における新規出店コスト・前期に積極採用を行った影響による人件費・その他各種施策コストの増加による減益により、連結営業損失となったものの、利益計画どおりの進捗。
- ◆ 第2四半期以降、リユース店舗事業の既存店における中古家電を中心とした仕入・売上増とコストコントロールの推進を加速化。通期連結営業利益は、2016年5月の公表どおり8億円の見通し。

II. 連結損益

2017年3月期1Qより報告セグメントの区分を変更しております(「パッケージメディア事業」を「その他」に統合)。
下記の2016年3月期1Qのセグメント別実績は、変更後のセグメント区分に組み替えたものです。

単位: 百万円						
科目	2017/3期1Q	構成比	2016/3期1Q	構成比	前期差	前期比
売上高	19,883	-	17,700	-	+2,182	112.3%
リユース店舗事業	17,453	87.8%	15,993	90.4%	+1,459	109.1%
ブックオフオンライン事業	1,626	8.2%	1,230	7.0%	+396	132.2%
ハグオール事業	456	2.3%	128	0.7%	+328	355.3%
その他	346	1.7%	347	2.0%	△ 0	99.8%
売上総利益	11,842	59.6%	10,720	60.6%	+1,122	110.5%
販売管理費	12,309	61.9%	10,632	60.1%	+1,677	115.8%
営業利益(損失)	△ 466	-	88	0.5%	△ 554	-
リユース店舗事業	62	-	666	-	△ 604	-
ブックオフオンライン事業	133	-	51	-	+81	-
ハグオール事業	△ 104	-	△ 132	-	+28	-
その他	△ 21	-	△ 20	-	△ 1	-
調整額(全社)	△ 535	-	△ 476	-	△ 58	-
営業外収益	225	1.1%	213	1.2%	+12	105.7%
営業外費用	98	0.5%	72	0.4%	+26	135.7%
経常利益(損失)	△ 339	-	229	1.3%	△ 568	-
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	101	0.5%	29	0.2%	+71	339.0%
税金等調整前当期純利益(損失)	△ 440	-	199	1.1%	△ 640	-
法人税等	△ 5	-	206	1.2%	△ 212	-
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	△ 434	-	△ 7	-	△ 427	-

【売上高】

- グループ全体
- ・リユース店舗事業、ブックオフオンライン事業、ハグオール事業がそれぞれ増収となったことで、グループ全体では増収となった。

□リユース店舗事業

- ・新規大型複合店出店による増収に加え、既存店売上高が前年を上回ったことにより増収となった。
 商材別ではアパレル・スポーツ用品が好調に推移したこと、ヤフオク!出品により映像ソフトが伸びたこと、また携帯電話や家電などの新規取扱商材が上乘せされたことが増収に寄与した。

【営業損失】

- ・リユース店舗事業において、前期に実施したBOOKOFF店舗の変革に向けた店舗パート・アルバイトスタッフの人員拡充による人件費増加、ヤフオク!販売による物流コスト増加、新規出店コスト増加等により減益となった結果、連結営業損失となった。

【親会社株主に帰属する当期純損失】

- ・経常損失および減損損失等の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失となった。

III. 既存店実績(リユース店舗事業)

●四半期別前期比(直営店・国内)

リユース店舗事業既存店		1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
	売上高	102.4%						
	売上客数	95.8%						
	仕入高	108.9%						

●商材別売上高・仕入高実績(直営店・国内)

商材名	売上高				仕入高			
	1Q期間		累計		1Q期間		累計	
	前期比	構成比	前期比	構成比	前期比	構成比	前期比	構成比
書籍	95.2%	36.2%	95.2%	36.2%	95.0%	24.9%	95.0%	24.9%
音楽	94.3%	7.8%	94.3%	7.8%	99.5%	7.1%	99.5%	7.1%
映像	105.1%	10.4%	105.1%	10.4%	107.8%	11.7%	107.8%	11.7%
ゲーム	96.9%	12.0%	96.9%	12.0%	110.8%	18.6%	110.8%	18.6%
トレーディングカード・ホビー	128.3%	4.6%	128.3%	4.6%	134.4%	4.6%	134.4%	4.6%
家電・携帯電話	202.6%	6.1%	202.6%	6.1%	202.5%	9.4%	202.5%	9.4%
アパレル	101.8%	13.4%	101.8%	13.4%	106.6%	10.9%	106.6%	10.9%
貴金属・時計・ブランド	97.6%	5.0%	97.6%	5.0%	104.0%	8.5%	104.0%	8.5%
その他	107.1%	4.5%	107.1%	4.5%	99.2%	4.3%	99.2%	4.3%

IV. 新規出店・リパッケージ

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN	所在地	売場面積
新規出店	307号枚方池之宮店	BOOKOFF SUPER BAZAAR	4月7日	大阪府枚方市	1,100坪
	286号仙台鉤取店	BOOKOFF PLUS	4月21日	仙台市太白区	352坪
	西友高針店	BOOKOFF SUPER BAZAAR	4月28日	名古屋市名東区	744坪
	西友鳴海店	BOOKOFF SUPER BAZAAR	5月26日	名古屋市緑区	863坪
	ショップス市川店	BOOKOFF SUPER BAZAAR	6月2日	千葉県市川市	737坪
	アクロスプラザ佐世保店	BOOKOFF SUPER BAZAAR	6月16日	長崎県佐世保市	758坪
リパッケージ	西五反田店	BOOKOFF PLUS	6月23日	東京都品川区	296坪

V. 通期業績見通し

単位: 百万円						
科目	2017/3期	構成比	2016/3期	構成比	増減額	増減率
売上高	85,000	-	76,564	-	+8,435	11.0%
営業利益(損失)	800	0.9%	△ 530	-	+1,330	-
経常利益	1,300	1.5%	5	0.0%	+1,294	-
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	350	0.4%	△ 528	-	+878	-

※当期リユース店舗事業における新規商材の仕入・売上について変動幅が大きくなる見込みであるため、通期のみで業績を管理しております。

VI.グループ中期事業計画と進捗状況について

事業方針

最大の買取

グループの総合力で最大に

最大の販売

店舗・ネットを通じて最大の販売効率を追求

4つのテーマ

「BOOKOFF」の変革

「本のBOOKOFF」から
「何でもリユースのBOOKOFF」へ

総合リユース店舗の拡大

大型化・複合化による圧倒的に強い
リユース店舗の拡大

ブックオフオンライン事業の拡大

中古本品揃え最大化の実現と
取扱い商材の拡張

ハグオールの事業拡大と収益化

事業モデル構築から
規模の拡大と収益獲得へ

目標とする経営指標

将来目標:営業利益100億円

当面の目標は2020年3月期までに営業利益40億円

「BOOKOFF」の変革

- ・前期に導入した家電に関する各種取扱いマニュアルや本社からのサポート体制を整備。
- ・店舗商品の「ヤフオク!」への出品数を拡大し、店舗・ネット双方での販売を拡充。
- ・グループ内の店舗以外における仕入・物流業務について整理・合理化するため、宅配買取サービス、出張買取サービス、携帯電話・パソコン等のデータ消去、商品保管・供給、拠点間物流の構築・手配の業務を集約し、「仕入物流部」を新設。

総合リユース店舗の拡大

- ・「BOOKOFF SUPER BAZAAR(BSB)」5店舗、「BOOKOFF PLUS(BOP)」1店舗を出店。また「BOOKOFF」単独店1店舗を「BOP」にリパッケージ(FC含む)。累計では「BSB」は38店舗、「BOP」は45店舗となった。
- ・リユース店舗事業の出店計画達成に向けて、店舗物件開発の営業活動をより機動的に行うために「開発営業部」を新設。

ブックオフオンライン事業の拡大

- ・前期に実施した倉庫の拡張や店舗と連携した在庫拡充施策により、ECサイト上のアイテム数が大幅に増加。
- ・「ヤフオク!」への書籍在庫の出品を拡大。
- ・顧客データ活用によるECサイト改善を実施。

ハグオール事業の事業拡大と収益化

- ・「総合買取ご相談窓口」を前期オープンした日本橋三越本店、銀座三越に続き東急百貨店本店にオープン。
- ・ネット販売に加え、BtoB販売や各種商業施設での催事販売など、販売網を拡大。